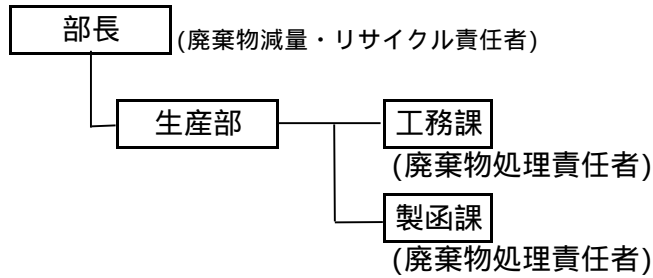


（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
熊本市長 大西一史 様	令和 6 年 4 月 25 日
提出者 〒861-5254 住 所 熊本県熊本市南区孫代町1番地 中央印刷紙工株式会社 氏 名 代表取締役 小橋 里嘉 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 096-227-1592(担当:中西)	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	中央印刷紙工株式会社
事業場の所在地	熊本県熊本市南区孫代町1番地
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	パルプ・紙・紙加工品製造業(14)
事業の規模	製造品出荷額 約15億円
従業員数	60人
産業廃棄物の一連の処理の工程	・紙類(廃ダンボール) 段ボール製品の生産工程で排出される古紙をシュレッダーで破碎処理後、再生利用業者に回収依頼し原紙として再生利用している。 ・汚泥(脱水ケーキ) 当社で廃液を脱水処理し、収集運搬業者に運搬を委託、処分場で焼却・埋立処分されている。 ・木屑(木パレット) 収集運搬業者に処分場への運搬を委託、処分場で焼却・埋立処分されている。 ・金属屑(機械部品、番線等) 収集運搬業者に再生利用業者への運搬を委託、金属製品に再生利用されている。 ・廃プラスチック類 収集運搬業者に運搬を委託、処分場で破碎処理されている。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状	【前年度 (2023 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 工場建屋内外で使用中の蛍光灯をLEDライトへ移行。 ・ 廃プラスチックの一部再資源化。 ・ 中古パレット購入		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 使用済みコピー用紙を裏紙として再利用する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の種類ごとに分別、保管している。
計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取組を継続する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定は無い。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 脱水処理により汚泥の排出量削減を行っている。		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 現状の取組を継続する。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 実施していない。		
	【目標】		
計画	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定は無い。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 委託先に廃棄物処理工程について確認。		

(第 5 面)

	計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組を継続する。			
事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書内訳(2023年度実績)

別紙

(単位:トン)

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
紙類	1,627					1,627		1,627		
木屑	2					2				
金属くず	1					1		1		
汚泥	46			23		23				
廃プラスチック類	3					3		1		
合 計	1,679			23		1,656		1,629		

産業廃棄物処理計画書内訳(今年度目標値)

別紙

(単位:kg)

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関する事項	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量	自ら再生利用を行う量	自ら熱回収を行う量	自ら中間処理により減量する量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
紙類	1,600,000					1,600,000		1,600,000		
木屑	2,000					2,000				
金属くず	3,000					3,000		3,000		
汚泥	70,000			3,500		35,000				
廃プラスチック類	2,000					2,000		1,000		
ガラス・陶磁器くず	500					500				
合 計	1,677,500			3,500		1,642,500		1,604,000		